

社会医療法人河北医療財団 河北総合病院移転建設工事について

東京都杉並区阿佐谷北 1-7-3
社会医療法人 河北医療財団

1. 移転計画の概要について

当財団では、現 河北総合病院（331 床）及び河北総合病院分院（76 床）について、建替え移転工事を計画しております。

新病院「河北総合病院（仮称）」は、現 総合病院と分院の 2 病院を 1 病院に統合し、390 床、地上 9 階建となる予定になっています。（参考資料：「建築概要」「パース」を参照ください）

建設予定地は、現病院の隣にある土地に移転となります。建設スケジュールは、今年末より着工し、2025 年はじめ開院予定です。

2. 移転の目的について

当財団は 1928 年の創立以来、90 年以上の長期にわたってその時代時代に合わせた地域社会からの要請に応えるべく活動してきましたが、その長い歴史の間の中には、東日本大震災やコロナ禍のような、これまでの社会の在り方を大きく変えてしまうような出来事も発生しました。

当院でも一昨年からのコロナ禍において、いち早く陽性患者の受入を行うなど緊急時の対応等にも積極的に取り組んで参りましたが、建物の老朽化等により、時代に合わせた対応がだんだんと困難になってきているというのが現状です。

今後も地域の方々に安全で安心できる医療体制を提供するために、そして、職員が安心して働ける環境を整備するために、次の 100 年を見据えた機能的な病院を建築したいと考えています。

3. 移転後の病院機能について

今回の計画では今後の杉並区と隣接地域における医療需要の変化を見込み、現在の 2 病院合計 407 床から 1 病院 390 床へと病床数の見直しを行ったうえで、地域医療支援病院としての機能をより高めていきたいと考えています。

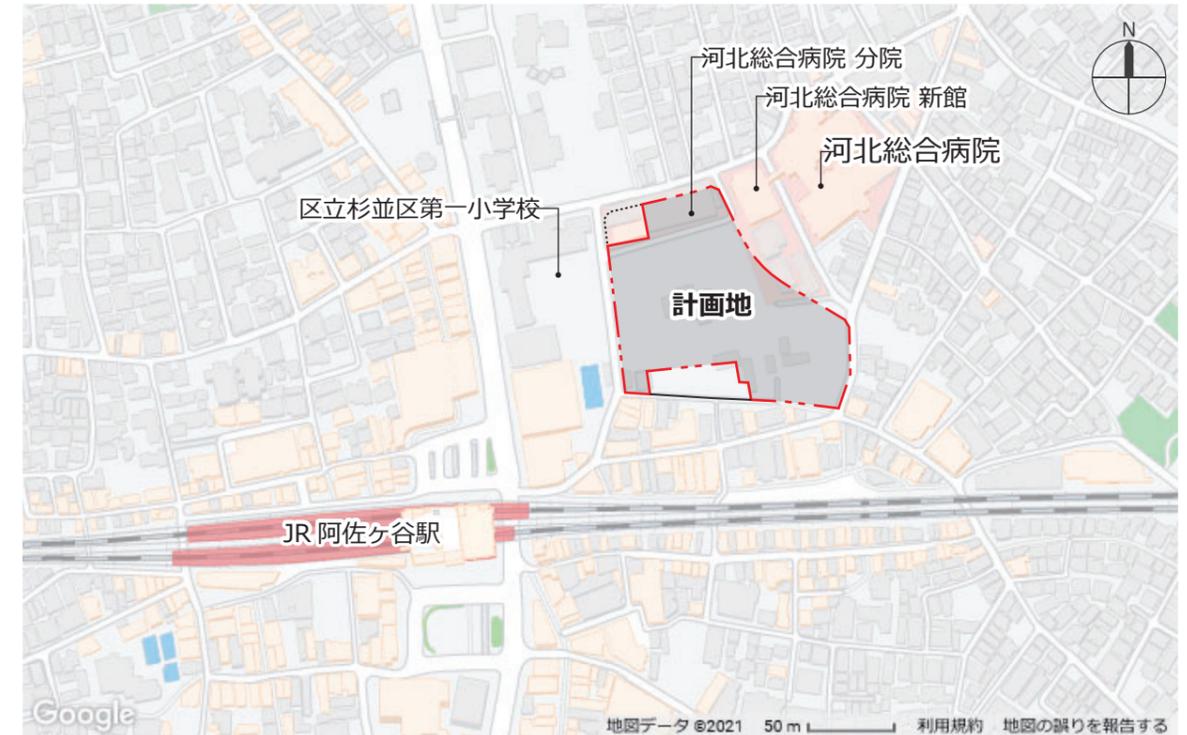
具体的には、高度急性期及び急性期病院として救急医療（小児含む）、災害医療、がん診療及び周産期医療などの中核病院を目指し、さらに、在宅・介護施設等からの急性増悪した患者の受入・転院など、地域医療機関との更なる連携強化を図り、地域包括ケアシステムの充実に促進したいと考えています。

以上

建築概要

計画地	東京都杉並区阿佐谷北一丁目904-1 他 (地名地番) 東京都杉並区阿佐谷北一丁目6番 (住居表示)
地域地区	阿佐ヶ谷駅北東地区 地区計画
防火地域	防火地域・準防火地域
用途地域	第一種中高層住居専用地域・近隣商業地域・商業地域 (9,064.00㎡) (1,690.71㎡) (408.50㎡)
敷地面積	11,163.21 ㎡
道路幅員	北側 9.0m 区画道路1号、東側 7.0m 区画道路3号 南側 4.0m 区画道路8号、西側 6.0m 区画道路2号
許容建築面積	8,233.76 ㎡
許容建ぺい率	73.75 %
許容容積対象床面	34,306.55 ㎡
許容容積率	307.31 %
主用途	病院
病床数	390床
駐車場	107台
駐輪場	72台
バイク置場	6台

敷地案内図



構造概要

構造	RCST造 一部 鉄骨造 免震構造
階数	地下なし 地上9階 塔屋1階
耐火・防火構造	耐火建築物

面積表

建築面積	4,730.88 ㎡
延床面積	32,772.36 ㎡
最高高さ	40.00 m



